

世界に冠たる皆保険堅持・自立高齢者の増のための津幡町の高齢者の保健事業と介護予防等一体的実施事業

一体的実施は、保健分野は「介護予防の観点」、介護(予防)分野は「生活習慣病重症化予防の観点」をよりプラスして展開し、更に、「高齢者の生きがいづくり等のための生涯学習や活動環境の充実」に係る分野等とも連携・協働して上位計画の具現化に繋ぐ。

【概況】

位置：石川県のほぼ中央で県都金沢市に隣接し、加賀・能登、富山県を結ぶ要衝の地
人口 37,381人 高齢化率 25.2% 被保険者数 4,908人 日常生活圏域 1
平均寿命 男 81.0歳 女 87.1歳
平均自立期間(要介護2以上) 男 79.6歳 女 84.8歳
平均自立期間(要支援・要介護) 男 78.3歳 女 82.1歳
死因：がん・心疾患・脳血管疾患・糖尿病 (R4年度)



【推進体制】

- ◇調整部門⇒健康推進課：企画・調整担当課
- ◇実践部門⇒健康推進課：健診事業、重症化予防事業担当
健康増進計画主管課、データヘルス計画担当
福祉課：介護予防事業担当課、介護保険計画主管課、総合支援事業、
高齢者福祉担当 地域福祉計画主管課、地域ケア推進担当課
町民課：後期高齢者医療担当課
税務課：国保担当課、データヘルス計画主管課
- ◇連携機関⇒社会福祉協議会：いきいきサロン事務局
広域連合との協議の場合等 (R5)：庁内連絡会6/1 意見交換会6/6、推進会議兼研修10/30

【高齢者を取り巻く現状と健康課題】

○医療⇒一人当たり医療費は県内3位で高い。

- ・後期高齢者の医療費分析(最大医療資源傷病名)は、筋・骨格に係る医療費割合が最も高く、24.5%を占めている。また、脳梗塞、慢性腎臓病(透析有)、糖尿病に係る医療費が10.3%、9.9%、9.3%といずれも県より高い。
- ・患者千人当たり人工透析新規患者数は、R4年度は、0.176でR3年度より高く、県より高い。

○介護⇒要介護認定率は、16.5%と、県、同規模と比べると低い。

- ・介護が必要になった主な原因では、認知症、骨・関節疾患、脳血管疾患が上位であり、有病では心臓病、糖尿病、認知症、脳疾患、精神が県より高い。
- ・認定区分が要支援1・2、要介護1のサービス利用率が県・同規模と比べると高い。

○保健⇒健診受診率は、23.4%と、県、同規模と比べると低い。前年度より増加したが、コロナ禍前の受診率と比較すると低い。

【取組】

- ・医療費分析では、循環器系の疾患が1位であり、脳梗塞、腎不全(透析あり)、糖尿病の割合が高い。また、患者千人当たり人工透析新規患者率が昨年度より高く、県よりも高い。⇒糖尿病性腎症重症化予防の取り組みが必要。
- ・介護が必要になった主な原因では、認知症、骨・関節疾患、脳血管疾患が上位であり、有病では、糖尿病、脳疾患、精神が県より高い。⇒生活習慣病の重症化及びフレイル予防が必要。
- ・健診時の問診による口腔機能の該当者割合が、県・同規模より高く、半年間の歯科受診は、県・同規模より低い。⇒口腔機能低下の予防が必要。
- ・医療・健診未受診者は、154人(3.2%)おり、健康状態が把握できる者と比べると重症化(死亡・要介護認定)しやすい。⇒健康状態不明者の把握が必要。
- ・健診受診率が県に比べると低い⇒健康状態不明者の状況把握及び健診受診勧奨や必要な支援へつなぐことが必要。

【企画・調整等】

- 企画調整：保健師(専従)
- 庁内各課、広域連合との連携
 - ・年3回連絡会実施
 - ・介護予防部会(福祉課)
- かかりつけ医との連携
- 県糖尿病対策会議との連携
- 町健康づくり推進協議会、保険事業支援・評価委員会による第三者評価

ハイリスクアプローチ

- ①糖尿病性腎症重症化予防
 - ・80歳未満でHbA1cやeGFR異常値該当者に保健指導を実施。(県栄養士会に委託)
- ②その他重症化予防
 - ・75歳以上で令和4年度の健診結果よりHbA1cや血圧、心電図等で異常値該当者に保健指導を実施。
- ③健康状態不明者等
 - ・5年間受診歴なし及び令和4年度受診歴なしの方に訪問し、健康状態を把握。(地域包括支援センター等で把握しているものは除く)

ポピュレーションアプローチ

- ①通いの場(地区いきいきサロン)への積極的関与
 - ・参加サロンを募り、高血圧等の生活習慣病の重症化予防やフレイル予防を目的に、健康教室を実施。
 - ・新規サロンは年3回、継続サロンは年2回実施。
 - ・血圧または握力測定のほか、体組成測定を実施。高齢者質問票で健康状態を把握。(回ごとに測定内容は違う)
 - ・担当：健康推進課地区担当保健師、管理栄養士、福祉課地区担当、歯科衛生士等

◆ハイリスクアプローチ

取組区分	アウトプット			アウトカム			
	抽出者数	介入者 [※] 数	介入率	計画		実績	
				評価指標	評価時期	結果	課題・改善方策
健康状態不明者	65	40	61.5%	①健診、医療、介護サービス等につながった人数・割合 ②健診受診につながった人数・割合等 ③R4訪問者でR5健診につながった人数・割合 ④健康状態不明者の割合(前年度との比較)	①③④ 令和6年3月 ② 令和7年3月	①2人(5%) ③3人/36人(R4訪問者40人中36人に訪問)(8.3%) ④R4年度:1.4% R5年度:1.7%	・今回、訪問にて亡くなっている方の発見に至った。現在対象者が留守の場合、包括のパンフレットにメモを残す→再訪問→留守の場合、パンフレットに包括への連絡依頼をする、という流れであるが連絡をもらえない場合が多く、対象者の顔を見ないまま終わる事に不安が残る事がある。 ・健康診断や医療機関への受診に強い抵抗感がある場合、次回の訪問は2年後になる。訪問時気になることがあれば包括の地区担当へ報告するが、それ以外の方は2年間、期間が開いても大丈夫であるかが心配である。 ・訪問することによって初めて相談機関や地域の資源があることを知る方がいる。→いきいきサロンなどの地域の集まりや地区回覧板での周知の必要性がある。
糖尿病性腎症重症化予防	5	5	100.0%	①HbA1c・体重・生活習慣等の改善人数(増加・減少・変化なし=維持)及び割合 ②HbA1cの変化等 ③【長期的評価】糖尿病性腎症の新規人工透析者数、糖尿病に係る医療費、要介護認定率	① 令和6年3月 ②③ 令和7年3月	改善 維持 悪化 HbA1c 2人(40%) 2人(40%) 1人(20%) ① 体重 0人(0%) 2人(40%) 3人(60%) 生活習慣 4人(80%) 1人(20%) 0人(0%) ②R4年度対象者の状況 HbA1c改善・維持数 4人/5人(80%)	R5年度のみ結果、R4年度に保健指導した方の結果より保健指導の成果がみられた。保健指導を受ける優先度の高い人に受けてもらいたい、保健指導を希望しない。今後も、保健指導を受けてもらえるよう、訪問中心で勧誘する。また、訪問した際に健診の受診勧奨をし、今後の保健指導につなげる。
その他の重症化予防	20	18	90.0%	①治療につながった者 ②HbA1cの変化 ③血圧の変化 ④体重・生活習慣等の改善人数(増加・減少・変化なし=維持)及び割合等 ⑤【長期的評価】糖尿病性腎症の新規人工透析者数、糖尿病、心疾患、脳血管疾患に係る医療費、要介護認定率	①④ 令和6年3月 ②③⑤ 令和7年3月	①治療につながった者(通院経過観察中を含む)14人(77.8%) ※心電図で再検査になった人12人のうち受診した方6人(50%) ④生活習慣の改善・維持 5人(27.8%) ※面談することができた者(時間は問わない)	保健指導対象者の63%が心電図異常で再検査であった。 対象者には、高血圧Ⅲ度の未受診者はHbA1c8.0%以上、eGFR39以下の未受診者はそれぞれ1人、健診結果の重なりで気になった人4人(治療中)であり、重症化予防としては、対象者数が少なく、対象者の見直しが必要と思われる。

津幡町高齢者の保健事業と介護予防等一体的実施事業 令和5年度実績

◆ポピュレーションアプローチ

取組区分	アウトプット			アウトカム			
	通いの場 (予定)	通いの場 (実績)	参加者数 (累計)	計画		実績	
				評価指標	評価時期	結果	課題・改善方策
健康教育・健康相談	14	14	412	①事業開始前後の運動・栄養・口腔認知症等のフレイル関連項目の維持・改善割合 ②必要なサービス(健診・医療・介護等)につながった人数等 ③実施回数や参加者数 ④【長期的評価】運動・栄養・口腔認知症等のフレイルリスクの改善率、要介護認定率、医療費及び介護費の増減	①②③ 令和6年3月 ④ 令和7年3月	①高齢者質問票: 運動 40.2% 栄養 87.9% 口腔 49.4% 認知症 59.8% 握力又は筋肉率: 増加 33.9% 変化なし 32.2% 低下 33.9% ②健診受診割合:97人(45.8%) 医療につながった人:1人(0.5%) ③教室参加実人数:212人 実施回数:31回	高齢になるほど、機能低下がみられ、機能維持することが難しい。教室は、自身の身体を知ることで、生活を見直し、機能低下を遅らせることができればと思われる。 サロンには、歩いてきている方がほとんどで、参加できている時点で、フレイルを予防できていると思われる。 サロンへ継続的に関わることで、早期に必要な支援につなげる。

区分		事業名 *介護保険法施行規則改正前の旧(ア) → 改正後の①の(ア)
関 行 政 機 関 ・ 保 健	高 齢 者 の 保 健 事 業	保健①健康診査・健診結果返し（結果により保健指導） 保健②一体的実施の保健事業
	適 正 療 費	ジェネリック医薬品（後発医薬品）の利用促進（国保） 保健広報（国保）
行 政 機 関 が 実 施 主 体 で あ る も の	高 齢 者 の 福 祉 関 連 事 業	福祉① シニアクラブ活動
		福祉② 敬老会事業
		高齢福祉③ 長寿祝品
		高齢福祉④ 高齢者の生きがいと健康づくり事業
		高齢福祉⑤福祉バス運行事業
		高齢福祉⑥障害者等外出支援事業
		高齢福祉⑦冬季生活支援事業
		高齢福祉⑧ 自立支援型住宅リフォーム推進事業
		高齢福祉⑩ 寝具類洗濯乾燥消毒サービス
		高齢福祉⑪ 訪問理美容サービス
		高齢福祉⑫ 地域と事業所、専門職のネットワークづくり
		健 康 増 進 事 業
健康増進②健康手帳		
健康増進③健康教育		
健康増進④健康相談		
健康増進⑤啓発普及		

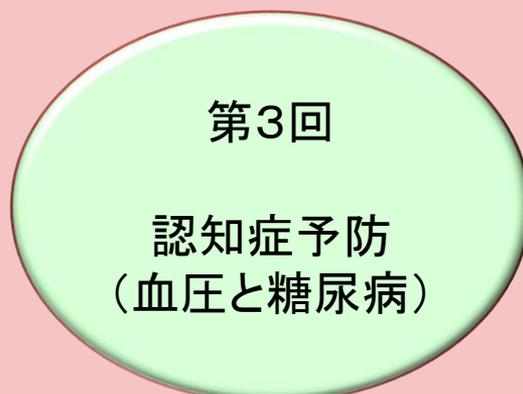
区分		事業名 *介護保険法施行規則改正前の旧(ア) → 改正後の①の(ア)
国 民 健 康 保 険 の 保 健 事 業	国 民 健 康 保 険 の 保 健 事 業	☆0 国民健康保険運営協議会
		☆1 国民健康保険データヘルズ計画及び特定健康診査事業等実施計画
		☆2 特定健康診査等受託医療機関への事業説明会
		☆3 特定健康診査（集団・個別）
		☆4 特定健康診査結果返し・健診結果の見方説明会
		☆5 特定保健指導
		☆6 人間ドック・脳ドック
		☆7 その他（結果分析やその結果の評価などを関係者と共有）
	介 護 保 険 事 業	◇0 介護保険運営協議会
		◇1 介護認定審査会
		◇2 介護相談・・・
		◇3 介護予防普及啓発事業
		◇4 地域介護予防活動支援事業
		◇5 家族介護支援事業（介護用品券支給）
		◇6 地域自立生活支援事業
		◇7 生活支援体制整備事業
◇8 認知症サポーター等養成講座		
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	地 域 包 括 ケ ア 推 進 体 制	□1 地域包括ケア推進協議会
		□2 I 生活支援・介護予防の推進：①介護予防部会
		□3 II 在宅医療・介護連携の推進：②認知症部会
		□4 II 在宅医療・介護連携の推進：③医療介護連携部会
		□5 III 権利擁護の推進：④権利擁護部会
		□6 *医療・保健・福祉・権利擁護のネットワーク連絡会「まるっとつばた」 地域包括ケア推進協議会の連絡会・部会の情報交換・共有プラットフォーム
		□7 地域ケア会議
		□8 *その他 居住環境等に関する事柄 介護支援事業所・介護保険施設・サービス付き高齢者住宅など
社 会 福 祉 学 習 ・ 生 涯 全 安	社 会 福 祉	高齢者いきいきサロン（社会福祉協議会事務局）
		熟年者学級
		シニアゆるゆる体操
全 安		地区福祉の拠点づくり 地区くらし安心ネットワーク委員会・地区社協（津幡・中条・井上・河合谷・笠谷・荻安・萩野

利用可能な保健・医療・介護・福祉サービスや地域の社会資源など	意義・目的	利用可能頻度(目安)	概要	利用料など	問合せ先など
健康診査	生活習慣を見直し、健康の保持増進、及び介護予防観点での自己点検の機会	町が契約した町内医療機関又は集団健診年1回	年に1回、身体の総点検、健康チェック 集団健康診査・個別健康診査の実施(がん検診、結核検診も同時に受けることができる) ○高血圧症・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病の発症・重症化予防への取り組みを医師や保健師、管理栄養士など医療専門家と見直す機会である。	自己負担金 集団 300円 個別 500円	
健康相談	心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、健康管理に資することを目的に実施	随時、何回でも	健康推進課窓口に来所又は、電話相談 心身の健康に関する相談	無料	
带状疱疹予防接種費用の助成	带状疱疹の発生率を低減させ重症化を予防するためワクチン接種を希望する者に対し、費用の一部を助成し、経済的負担の軽減並びに健康の保持を図る	1人1回又は2回	【助成内容】 対象者:50歳以上 助成ワクチンと助成額等:生ワクチン:2000円×1回、不活化ワクチン:6000円×2回	—	津幡町役場 健康推進課 ☎288-7926
高齢者インフルエンザ予防接種	インフルエンザの発生率を低減させ重症化を予防するためワクチン接種を希望する者が接種できるよう費用の一部を助成し、健康の保持を図る (予防接種法:定期予防接種)	年1回	対象者:65歳以上(対象者には接種券を郵送) 接種期間:11月～1月 接種場所:町が指定する医療機関 自己負担額:1300円	—	
住民主体の通いの場等 ～地域介護予防活動支援事業～ ○運動機能向上:体操、体力測定等 ○社会参加促進:ホランテア・茶話会・趣味活動等 ○口腔機能向上:体操等 ○認知機能低下予防:脳トレ等 ○低栄養予防:健康教室、会食等	社会とのつながりの場 閉じこもりなどの社会的孤立を回避し、フレイル予防の場 近所の方々との通いの場における他愛のない会話などを楽しむと得られる健康増進刺激の効果及び認知症を遅らせる効果大きい。	シニアクラブの代表者又は、サロン代表者へ相談 各施設の利用については、各施設へ問い合わせ	各地区いきいきサロン(町内60か所)	サロンによっては会費あり	津幡町社会福祉協議会 ☎288-6276
			シニアクラブ(校下毎)	会費あり	
			サンライフつばた: □↑↓ 血圧計・運動器材・体育館・入浴施設(R5.5～工事で利用不可)	施設利用料	サンライフ津幡 ☎288-3516
			津幡町総合体育館、津幡町運動公園体育館:□↑↓、「シニアゆるゆる」など教室の開催	1回 200円	津幡町総合体育館 ☎289-3161 津幡町運動公園体育館 ☎288-7201
			津幡町文化会館(シグナス):生涯教育課、図書館、カフェ、サークル活動等		津幡町役場 生涯教育課 ☎288-2125
			ウエルピア倉見:入浴施設、くつろぎ空間	入館料:65歳以上 250円	ウエルピア倉見 ☎288-2100
			倶利伽羅塾:宿泊・入浴施設、物販(町特産品など)		倶利伽羅塾 ☎288-8668
			河愛の里Kinscule:体験、宿泊、飲食		河愛の里 ☎287-1086
			公民館・コミュニティプラザ:血圧計・体組成計、公民館活動(熟年教室など)		各公民館
			各町内集会場(一部):血圧計		区長
アザレア:プール、運動施設、健康づくりに関する講座などの開催	施設利用料等(1回700円)	アザレア ☎288-7011			
勝崎館:銭湯	入浴料:490円 ふれあい入浴補助券使用:100円	勝崎館 ☎289-2161			
健康アップ教室かがやき	介護予防事業 通所型短期集中サービス	週1回6か月間 ※送迎要相談	【対象者】病気等により、生活機能が低下してきた方 【内容】運動、栄養、口腔、認知機能改善プログラム 毎週金曜日午前、※口腔機能教室は午後	無料	地域包括支援センター ☎288-7952
はつらつ体操教室	介護予防事業 通所型住民主体サービス	週1回 ※送迎要相談	【対象者】健康アップ教室かがやきを修了した方 【内容】介護予防メイトによる運動や認知症予防の体操、脳活性化ゲームなど	無料	5

利用可能な保健・医療・介護・福祉サービスや地域の社会資源など	意義・目的	利用可能 頻度(目安)	概 要	利用料など	問合せ先など
元気わくわく教室	運動機会を設けることにより、運動の動機付けを行い、機能維持や自立支援の助長及び介護予防を図る	月1回	【対象者】ウエルビア倉見利用者 【内容】体力測定、軽い運動、講話(膝痛・腰痛予防)	費用なし	地域包括支援センター ☎288-7952
ひざ腰楽らく教室	継続的な運動機会を設けることにより、運動の動機付けを行い、機能維持や自立支援の助長及び介護予防を図る	1人につき利用期間は、6か月間(24回)	対象者：65歳以上で腰痛、膝痛等を自覚する者 開催日：毎週月または金曜日 各曜日20名程度 送迎希望者には送迎あり 体力測定を実施	1回 300円 送迎1回200円	アザレア ☎288-7011
Cook！AYT(朝に野菜を食べよう)情報発信 CVTV・町内一斉放送	食生活改善により、生活習慣病予防の推進		朝に野菜を食べることで、1日のインシュリンの出力が緩やかになることから、忙しい朝でも簡単に調理できるレシピを紹介し、健康に関する情報も提供している。 3～4か月ごと新レシピを紹介する。		津幡町役場 健康推進課 ☎288-7926
◎介護予防チャレンジ事業	1人でもできる実践介護予防	介護予防手帳	65歳以上の方 介護予防で利用できる活動に参加して介護予防チャレンジ事業申請書を提出 公共運動入浴施設で利用できる 利用500円券 1枚を年間最大3枚まで発行		地域包括支援センター ☎288-7952
河北郡市医師・河北歯科医師会 県薬剤師会・県栄養士会 ケアマネージャー・包括支援センター等連絡会			◎各関係団体に一体的実施事業について相談し、連携及び協働し、事業に取り組んでいく。 ・健康づくり推進協議会、国民保険運営審議会、包括ケア推進協議会、いきいきサロン代表者会議など ・糖尿病性腎症重症化予防については、県栄養士会に委託、かかりつけ医との連絡 ・町内医療機関との情報共有		
心身を医療面から支える 循環器・内科・整形外科等	専門分野から心身の安心や安全などを医療面から支えてもらう	医療機関の開業等条件や、検査・治療受ける方の状態にて様々だが病名が確定或いは投薬治療が安定した場合は概ね月2回或いは数か月に1回	公立河北中央病院 内科、外科、整形外科、心血管外科、皮膚科、婦人科、泌尿器科、眼科、乳腺外来 ↑連携病院 石川県立中央病院 ↑ “ 金沢大学病院 ↑ “ 金沢医科大学病院 循環器内科・内科 8件： みずほ病院、あがた内科クリニック、うえしま整形外科・婦人科、おたクリニック、さかきばら内科医院、 松岡医院、宗平内科医院、由雄クリニック 外科 1件：山崎外科胃腸科クリニック 整形外科・リハビリテーション科 3件：かわむら整形外科クリニック、たにぐち整形外科クリニック、うえしま整形外科・婦人科 消化器科 1件：山崎外科胃腸科医院 脳神経外科 1件：キジマあたまのクリニック 神経内科 3件：さかきばら内科医院、宗平内科医院 皮膚科・形成外科 2件：石倉クリニック、まきの皮フ科 眼科 2件：いこま眼科医院、たなべ眼科医院 耳鼻咽喉科 1件：山田耳鼻咽喉科医院 婦人科 1件：うえしま整形外科・婦人科 透析 1件：みずほ病院 歯科 11件：あかつき歯科医院、石田歯科医院、沖野歯科医院、新本歯科医院、すみよし歯科医院、つだ歯科医院、中井歯科医院、なかじま歯科、のぞみ歯科医院、マコモ歯科、南歯科クリニック		
福祉バス	高齢者や身体に障害のある方などが、福祉施設や医療機関等を利用しやすいように運行している乗車料金が無料のバス		運行：各地区週2回(一部の地域では、小型バスによる予約制の運行) 対象者：高齢者・障害者・福祉バスを利用しなければ移動が困難な方 乗降場所：役場、文化会館シグナス、河北中央病院、JA石川かほく本店、おやど商店街、ウエルビア倉見、JA石川かほく津幡東支店	無料	津幡町役場 福祉課 ☎288-2458 生活環境課 ☎288-6701
のーと(AIオンデマンドバス)	時刻表や決まった運行ルートはなく、予約状況に応じて最適な運行ルート走るAIを活用した乗合バス		利用：運行時間内、運行エリア内 予約申込：スマートフォンアプリまたはコールセンター	運行時間： AM7時～PM7時 料金：1回200円	津幡町役場 生活環境課 ☎288-6701
つばたまちの高齢者福祉サービスの要覧「やすらぎ」	津幡町高齢者の社会資源情報の集約		津幡町高齢者の社会資源情報(冊子：やすらぎ)		地域包括支援センター ☎288-7952

集いの場(ポピュレーションアプローチ) サロンでの健康教室(全7回)

1年目(初年度)



2年目



3年目

第6回
お口のお話

第7回
評価

歯科衛生士によるお口づくり教室を追加

